

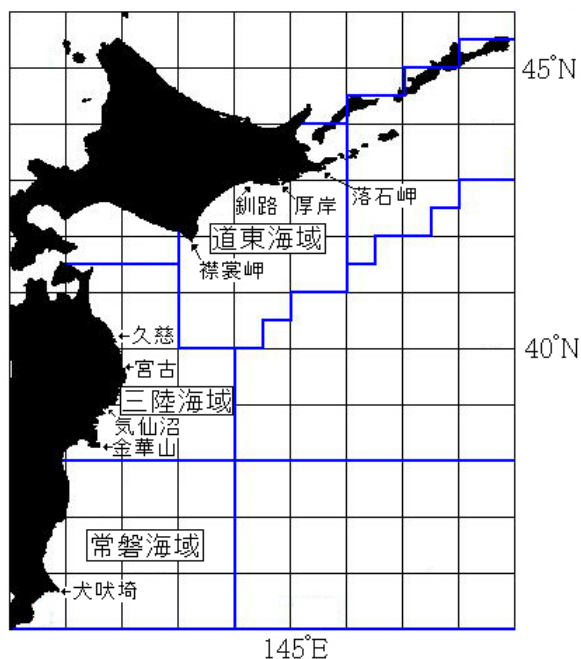
平成26年度 第1回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2014年9月中旬～10月下旬)のポイント

来遊量

- ・9月中旬は、道東海域よりも北東側の海域で来遊量が増加するが、道東海域では、低位水準である。
- ・三陸海域では、10月上旬になると、断続的ではあるが来遊がある。



海域の名称

問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 事業二課

担当：渡邊、松尾

電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

独立行政法人水産総合研究センター

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

平成26年度 第1回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2014年9月中旬から10月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

来遊量はゆるやかに増加し、9月中旬～下旬は低位水準であるが、10月上旬は中位水準となる。道東海域よりも南東側の沖合を南下する魚群が多く、10月中旬から減少を始め、10月下旬は低位水準となる。

(2) 漁場

9月中旬～下旬は、道東海域より北東側の色丹島南沖が主漁場である。10月上旬～下旬は、道東海域よりも南側の、落石南南東はるか沖合が主漁場である。道東海域では、9月中旬は落石南東沖～厚岸南沖で漁場が形成される。9月下旬～10月上旬は、落石南東沖～厚岸南沖で漁場が持続し、襟裳岬沖にも断続的に漁場が形成する。10月中～下旬は、落石南東沖～襟裳岬沖で漁場が持続する。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

10月上旬は、断続的ではあるが来遊がある。来遊量は徐々に増加し、10月中旬は低位水準、10月下旬は中位水準となる。

(2) 漁場

10月上旬には、三陸北部に一時的に漁場が形成される可能性がある。10月中旬～下旬は、三陸北部で漁場が持続する。

2. 予測の概要

海 域		9月中旬	9月下旬	10月上旬	10月中旬	10月下旬
道東海域	来遊量					
	動向	低位増加	低位増加	中位増加	中位減少	低位減少
	漁 場	落石～厚岸沖	落石～厚岸沖 襟裳岬沖	落石～厚岸沖 襟裳岬沖	落石～ 襟裳岬沖	落石～ 襟裳岬沖
三陸海域	来遊量					
	動向			断続的	低位増加	中位増加
	漁 場			北部	北部	北部

3. 漁況の経過概要（8月下旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、前年同様、低位水準であった。道東海域よりも北東側の花咲港東北東～東沖における来遊量の水準は、前年を上回った。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は徐々に増加した。

(2) 漁場

道東海域よりも北東側の花咲港東北東沖が主漁場であった。道東海域では、8月25日夜に千葉県水産総合研究センター千葉丸が落石南沖で1トン漁獲したのみであった。なお道東海域よりも北東側の、花咲港東北東～東沖（13～16℃）で、多くの船が操業。期前半は、花咲港まで2日以上かかる場所が主漁場であったが、期後半は花咲港まで日帰りできる場所でも漁場が形成された。

(3) 魚体

道東海域よりも北東側の、花咲港東北東～東沖では、大型魚主体であった。中型以下の魚が1割程度の群れもあれば、5割程度混じる場合もあった。体長31cmモード主体で、大型魚の体重は160～180g台主体であった。

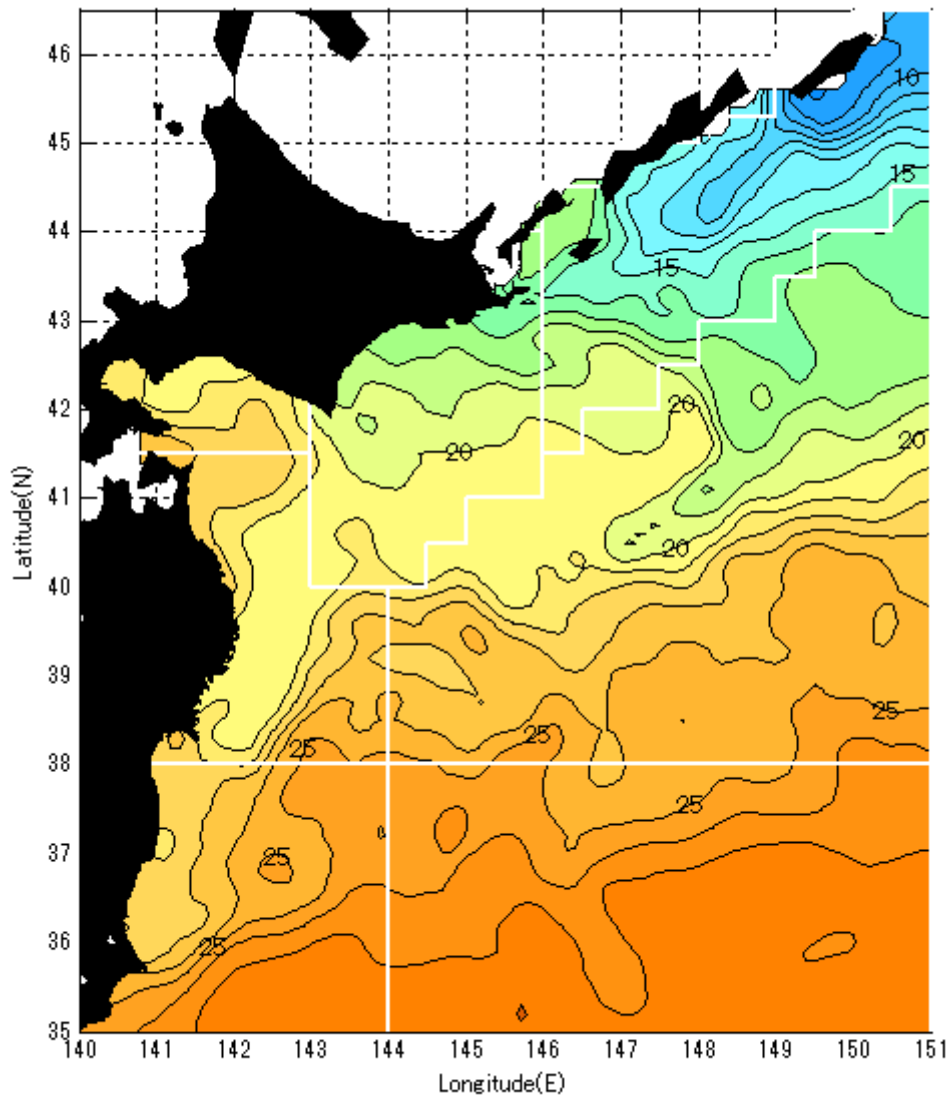
※常磐海域の予報については、第3回（9月29日発表予定）から行う。

※サンマ中短期予報の作成方法について

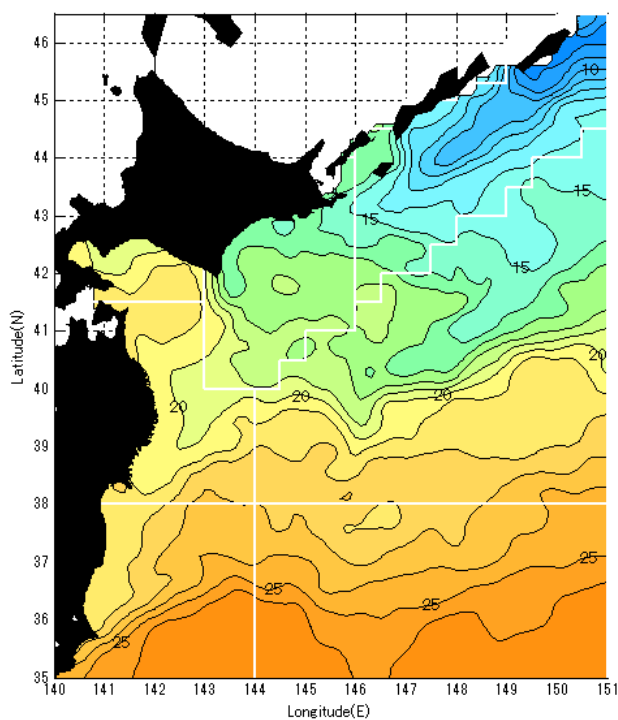
サンマ中短期予報は、数量化Ⅰ類を使用した予測モデルの結果を利用している。この予測モデルは、「予測を行う直前のサンマの来遊状況（今回の場合、8月下旬の海区別資源量指数）」と「予測海域の予測対象旬における表面水温の占有率（予測水温分布図から計算）」をパラメータとして使用している。予測水温分布図は、漁業情報サービスセンターが作成した海況図を用い、統計モデルを使用して予測した結果である。

4. 予測水温分布図

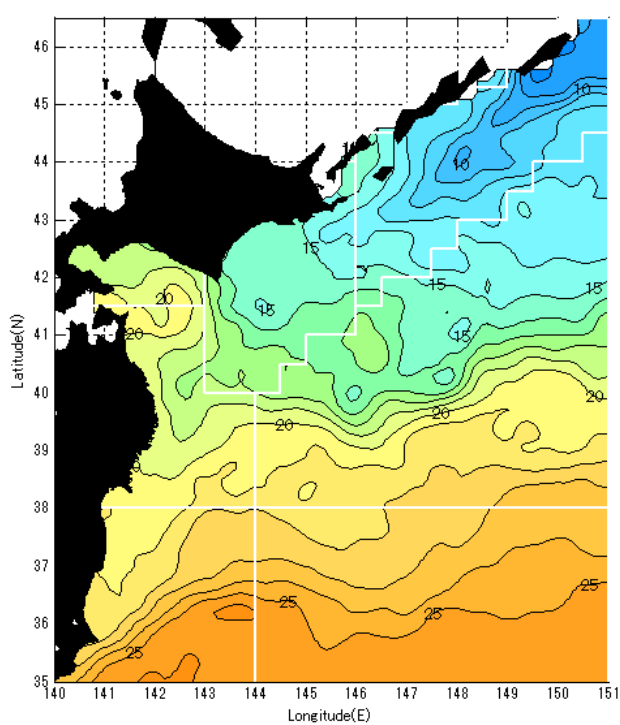
9月中旬予測表面水温分布図



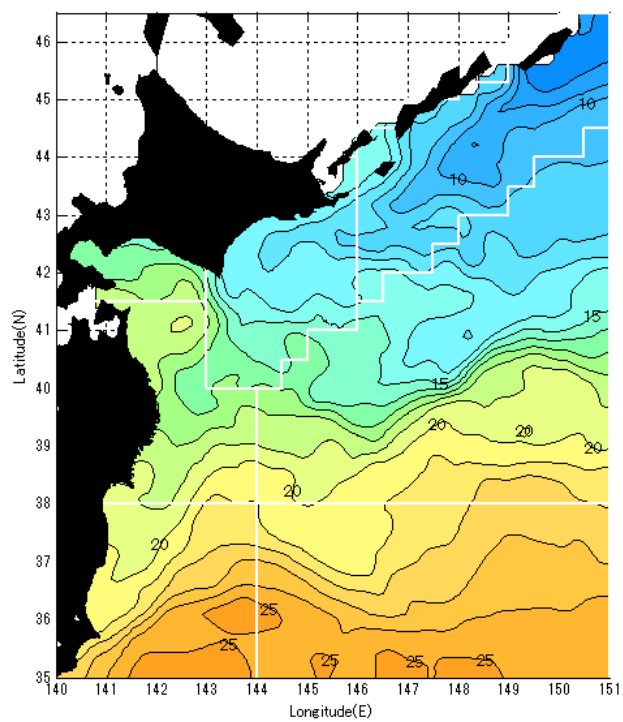
9月下旬予測表面水温分布図



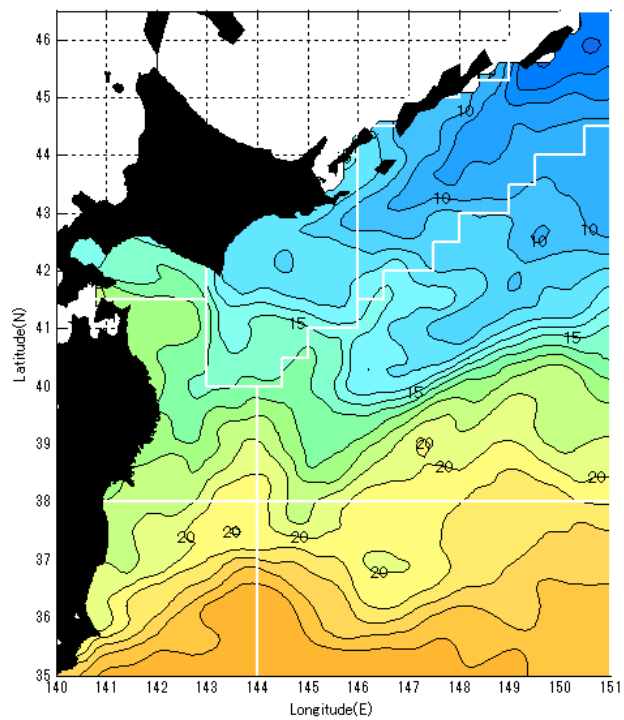
10月上旬予測表面水温分布図



10月中旬予測表面水温分布図



10月下旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
---	--